

令和5年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 34 令和5年9月4日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

就労継続支援B型事業所の長年の思いが叶った、高校生との共同販売！！

六月十五日・十六日の二日間、県立明石西高等学校（以下、西高）の文化祭「明西祭」で、就労継続支援B型事業所の自主製品（野菜・クッキー・縫物など）を、西校のボランティア同好会の学生さんと一緒に敷地内の中庭の一ブースで共同販売を行いました。初日は、サポートセンター曙・ステップあつぽ二見が、二日目は、こぐまくらぶウエストとリーフあかしに参加いただき、利用者さんと学生さんで自主製品の販売方法も取り決められました。売れ行きも順調で、大変有意義な地域交流の機会になりました。



▲利用者さんと学生さんとの販売場面

市域へ広げていきたい、県立明石西高校文化祭「明西祭」での取り組み

喜んでもらえる商品だから、手に取ってもらいたかった

▼自主製品の魅力を学生さんが校内をPR



「明西祭」当日のブース運営には、高校三年生のセクラスが飲食ブースを出展され、三年生の保護者・一・二年生がお客さんとして自主製品ブースにも足を運んでくださいました。「こんなに素敵な商品なので、手に取ってもらえたら喜んでもらえるはず」とボランティア同好会の学生さんが、校内を歩き回り、作業所の焼きドーナツやクッキー等を紹介。商品が完売したことを知った利用者さん方はとてもうれしそうな様子でした。



ほっこりニュース

学生さんとの共同販売のご縁から、利用者さんが文化祭に参加されました！！

「明西祭」で高校三年生が出店された飲食ブースでの購入は、三年生の保護者、西高の先生方、一、二年生の学生さんのみが金券で購入できる形式でした。右記の写真左側の利用者さんから、「昨年、卒業した高校では、コロナの影響で文化祭を経験したことがなかったんです。」とのエピソードをお聞きました。同校ボランティア同好会顧問の東先生の配慮で、特別に利用者さんに金券で飲食ブースの商品を購入できるように学校側と調整くださり、当日働いた工賃で文化祭にも参加でき、利用者さん方の笑顔が忘れられない一日となりました。



「明西祭」(令和5年度6月)での自主製品販売までの軌跡

しかし・・・

<平成27年度にしごと部会>
B型事業所への課題把握を行い、“工賃”の課題があり、取り上げた!

「利用者の工賃を上げるための活動」がスタート



B型事業所へのアンケート結果から、利用者さんの工賃が上がらない要因が明らかになった!

売り込む先がないなあ～

生産力の確保も難しいなあ～



<平成28年度にしごと部会>
「就労継続支援B型事業所の自主製品カタログ」を作り、製品を知ってもらうことで注文につなげられないか!? 取り組みも知ってもらおう!

(23事業所が参加)

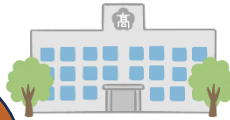


それならば・・・

カタログプロジェクトと並行して、さらなる生産活動・工賃保障の促進のため・・・



+



「つながるマルシェ」というネーミングで、コープこうべ(朝霧・大蔵谷・西明石・大久保・魚住)の店舗で自主製品販売を開始した。

「きずな」というネーミングで、明石高校、明石清水高校、明石西高校の職員室にて、自主製品を販売する機会をいただいた。

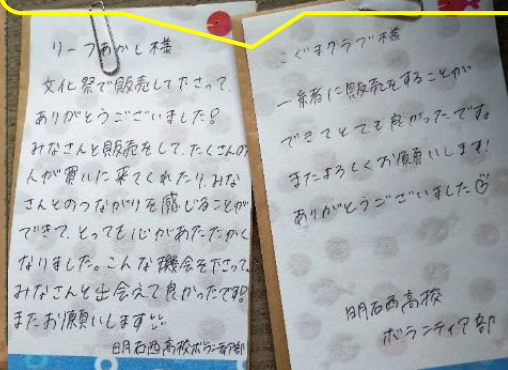
(現在も継続中)

(しごと部会としての思い)
高校の文化祭で自主製品を販売できたらいいなあ～



明石西高校のボランティア同好会へ相談したところ、共同販売のオファーがあった

ボランティア同好会の学生さんから、参加いただいた事業所の利用者さんへお手紙をいただきました



「明西祭」当日の学生さんと事業所の皆さまとの対話の様子は YouTube チャンネル「明石ふるさと情報局」で視聴できます!



クリックして見て!



「明石ふるさと情報局」(YouTube アカウント)を立ち上げた高田さんをご紹介します!

YouTube チャンネル「明石ふるさと情報局」の QR コードです。

よかったら視聴してね!



高田 慶一さんは、地域のつながりを育むことを目的に、世代間交流ならびに地域や各団体を結ぶ一助とした動画編集活動を行っています。

昨年度に、二見地区の交流・健康づくり等の広報紙を発行されている各機関が共有する場(「情報発信会」)を立ち上げられた発起人でもあります。今回、地域への発信手段として、高田さんから技術提供をいただき、「明西祭」当日の学生と B 型事業所の共同販売ブースの取材に来ていただきました。

二見地区スクールガード代表 高田 慶一さま



意気と絆で結ばれる地域の輪!